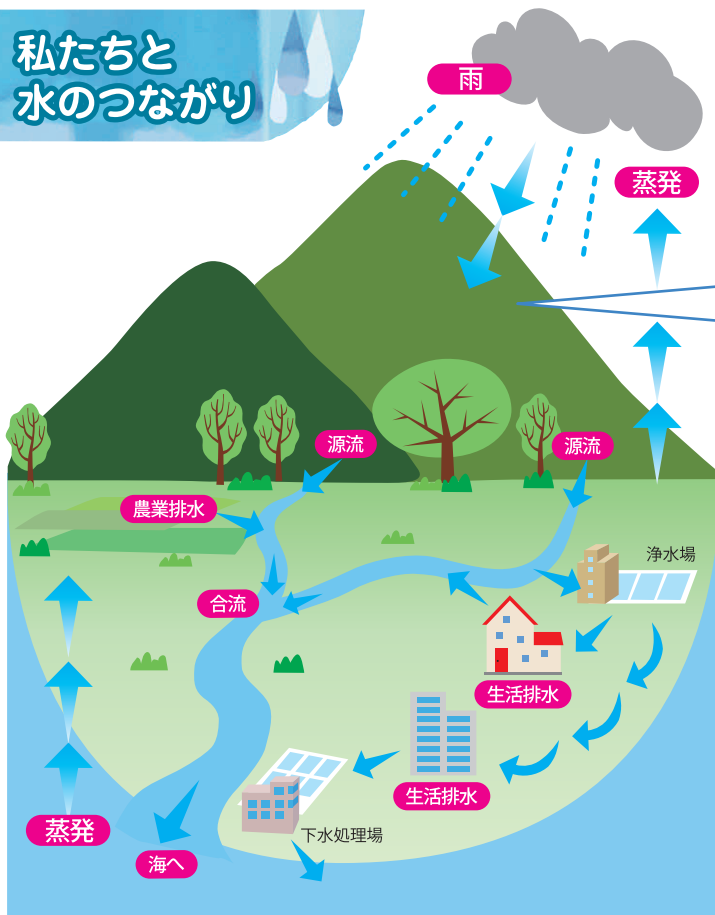
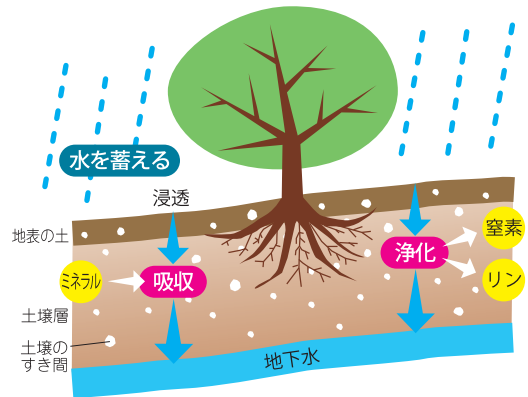


私たちと水のつながり



森林の水源かん養機能



「水を蓄える」

森林の地表の土は、落ち葉などの分解によってフカフカな状態になっていて、降った雨を土壌の中に蓄えます。水が土壌のすき間をゆっくりと浸透していき、地下水として流れ出すのに大事な役割をしています。

「水の浄化」

雨水に含まれる窒素やリンなどは、森林の土壌の中を通る間に、植物に吸収されたり、土壌にろ過されたりします。また、おいしい水に関わるミネラル類がほどよく付加します。

生命の水の源

酒だけでなく、豆腐、味噌、醤油など：水を原料とする食品はたくさんあります。どの食品でも良質な原料から作られたものは、その味にも高い評価がつくと思います。

酒造りにとって水は、その香りや味に関わる「生命」だといえます。

また、同じように私たちにとって、水は体内の大部分を占めているものであり、生命活動に欠かすことのできない「生命の水」なのです。

私たちと水のつながり

私たちの周りにはいろいろな水がありますが、コップ一杯の水も、魚など多様な生き物が生息する河川の水も、同じ水の循環につながっています。

地球上の水は陸や海から蒸発して雲となり、雨や雪となって山々へ降ります。その水が長い時間をかけて地下水脈に流れ込み、湧き水となって地上へ出て、川を流れ、再び海へと戻っていくという大きな循環を繰り返しています。

おいしい水はどこから

私たちは蛇口をひねれば、当然のようにきれいな水を使用することができます。しかし、何もせずに飲める水は地球上にわずかしかありません。ましてや、おいしい水となると、ごく限られてきます。

雨や雪が降らなければ、水は枯れてしまい、私たちが使用できる水はなくなってしまうます。また、森林の自然がなければ、豊富な水を蓄えることができず、おいしい水を確保することもできません。

おいしい水は当たり前にあるものではなく、これまでの歴史のなかで、人の手によって森林を大切にきてきたおかげなのです。

私たちの生命を維持するのに必要な水をこれからも確保していくためには、水を大切に使うと同時に、水を蓄え、浄化してくれる森林の自然をしっかりと保全していくことも重要なことなのです。